

7月29日(木) 17:30～19:00 4チャンネル

PRCWS-03(要旨) 第3回医療系IR友の会ミーティング～次なる一歩へ向かって

司会：恒川 幸司（岐阜大学）

医学教育におけるInstitutional Research (IR) について鑑みると、世界医学教育連盟 (WFME) のGlobal Standard を基にした日本医学教育評価機構 (JACME) の分野別評価が進展するに従い、多くの大学の医学部においてIR組織が設置されるようになった。しかしながら、医療系の分野別IRでは、機関別IRとは異なった医療系独自のデータが必要になるなどの、特有の課題を呈していることが明らかになった。そこで企画者らは、医学教育におけるIRについて各大学のIR担当者が共有して議論する場が必要と考え、2016年より医療系のIR担当者が集うワークショップを、さらに2018年からは「医療系IR友の会」を立ち上げ、約100名からなるIR担当者のためのメーリングリストを作成し、情報交換の場を設けている。今回の「医療系IR友の会ミーティング」も2019年の第1回から数えて毎年実施され、今回で3回目を数えることとなった。

最近では、COVID-19を受けての各大学の教育改善状況の解析や、医学教育分野別評価の2巡目の審査に必要となるであろう継続的な自己評価・改善のための活動、つまりInstitutional Effectiveness (IE) をどのように遂行していくか、といった新たな課題も生じつつある。一方、医療系のIR担当者が増えるに従い、IR研究や実践報告の活動も盛んとなってきた。このように、医療系のIRがさらなる発展を遂げていく中で、医療系IR友の会がどのような役割を果たしていくのか、という今後の活動方針についてを、IR実践者やIRに興味のある方々と考えていきたい。

ファシリテーター：中村 真理子（東京慈恵会医科大学）
Mariko Nakamura (The JIKEI University School of Medicine)

岡田 聡志（千葉大学）
Satoshi Okada (Chiba University)

浅田 義和（自治医科大学）
Yoshikazu Asada (Jichi Medical University)

菰田 孝行（東京医科大学）
Takayuki Komoda (Tokyo Medical University)

椎橋 実智男（埼玉医科大学）
Michio Shiibashi (Saitama Medical University)